

研究実施のお知らせ

2025年 12月 15日 ver.1.0

研究課題名

ECU（救命救急センター病棟）の現状分析と改善に向けた研究

研究の対象となる方

2025年6月から2031年3月末の間に松波総合病院救命救急センター病棟（ECU）に入院された方のうち、直接入院をされている方

（一般病棟からの移動により入室された方は対象ではありません）

研究の目的・意義

当院は、2025年4月に岐阜県知事より救命救急センターの指定を受けました。救命救急センターについては、必要な機能や、求められる体制については厚生労働省より示され、また年次の評価基準は充実度段階評価などで示されていますが、指定基準が都道府県の間でやや差異が見られています。これは地域の実情にあわせた運用がなされているためです。

この研究は、この点について着目し地域病院の参考になる運用の事例やデータ集積を行いよりよい療養環境を構築するための研究です。

研究の方法

研究中に以下の項目について診療録および当院で運用している診療支援システムの記録であるClinical Support Systemの患者急変報告より情報を得ることとしています。

入室時収集項目

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) ECU入室・退室日
- 4) 入院時病名、入室理由（救命救急入院理由および重症分類）
- 5) 既往歴・基礎疾患
- 6) 入室時処置治療（呼吸管理・循環管理・脳保護、肝腎内分泌、外科処置）の内容
- 7) 入室時併存症の有無
- 8) 入室時合併症・感染症の有無

診断後の検査・観察項目

- 1) 転帰 28日転帰 退室転帰および入室日数 退院転帰
- 2) 重症度評価（入室日、入室翌日、退室日）SOFA(Sequential organ failure assessment)score
- 3) -Artificial Support（人工呼吸、急性血液浄化療法、体外循環等）の必要性の有無、その期間
- 4) 侵襲的処置の必要性の有無
侵襲的手技：一般的に同意書を必要とする手技を対象とするが、以下具体的な例を示す
手術、各種ドレナージ手技、止血処置、IVR手技、内視鏡
- 5) 入室後合併症の有無
- 6) 死亡転帰の場合はその死因
- 7) 関連する血液検査記録

この研究に参加された場合、診療情報など、この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した情報により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

研究対象の期間

研究は2027年1月（研究許可後）から行いますが、対象となるのは2025年4月以降の入院・受信となります

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いたデータを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

松波総合病院 救急科・救命救急センター

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

松波総合病院 副部長・救命救急センター副センター長 山田 法顕

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、受診から1年以内までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

松波総合病院救命救急センター 山田 法顕

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

電話 058-388-0111